

PROGRAM NOTE

2005

近藤譲：リトルネッロ

ピアノ独奏のための

Ritornello

for solo Piano

私が井上郷子さんのために書いたピアノ独奏曲は、1990年の《ピアノのための舞曲「ヨーロッパ人」》、1996年の《高窓》、そして、1998年の《夏の小舞曲》に続いて、この《リトルネッロ》が4曲目になる。彼女に新たな曲を書く度に、私はいつも、何かしら新たなピアノ書法（或いは、ピアニズム）を試みてきたつもりである。最新作の《リトルネッロ》は、或る程度まで《夏の小舞曲》の書法を引き継いでいるが、同時に、私の最近の作曲全般に表れている和音書法とブロック的な構成——即ち、比較的厚い響き、そして、諸構成部分の対比的な配置——という傾向を、端的に反映している。そして、曲題が示している通り、同一の（或いは、極めて類似した）楽句が曲中何度も再帰する。

この作品は、2005年の大晦日に完成。（そう意図して作曲したわけではないのだが）結果的に、演奏者に対して極めて大きな技術的負担を強いる曲になった。

近藤譲

初演：2006年2月（東京）

初演者：井上郷子（ピアノ）

委嘱：井上郷子

出版：University of York Music Press (UK)

演奏時間：7分